

いちご収量・品質の安定化 ～新規参入者の栽培技術支援～

(課題番号 7)

◆活動年次：令和4年度

◆対象：浦河町・様似町 ①就農1～3年目(5戸)
②規格内率改善志向農業者(8戸)

1 課題の背景

新規就農1～3年目は栽培経験が少なく、経営も不安定である。新規参入者の定着を目的に就農計画の収量目標を達成し、経営の安定化を図る。

2 活動の経過

- ①個別巡回を定期的に行い、基本栽培技術の実施を支援した。
- ②共選場にホワイトボードを掲示し、タイムリーな情報提供を行った。

時期	方法	回数	主な内容
4月～11月	個別巡回	延べ35回	基本栽培技術、病虫害対策、肥培管理
7月～11月	ホワイトボードの記載	6回	気象、病虫害防除、肥培管理
9月・12月	栽培講習会	2回	生育状況、病虫害防除、調査結果
5～12月	着色不良果再現試験	8回	道総研との現地協議、生育調査、調査結果の分析、今後に向けた協議

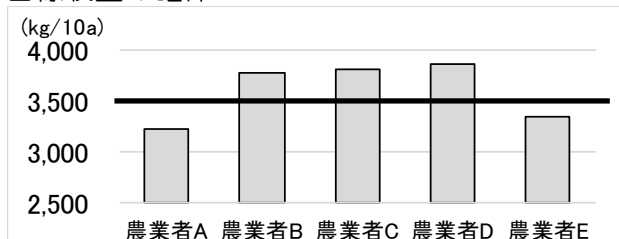
3 活動の成果

(1)基本栽培技術の習得・向上

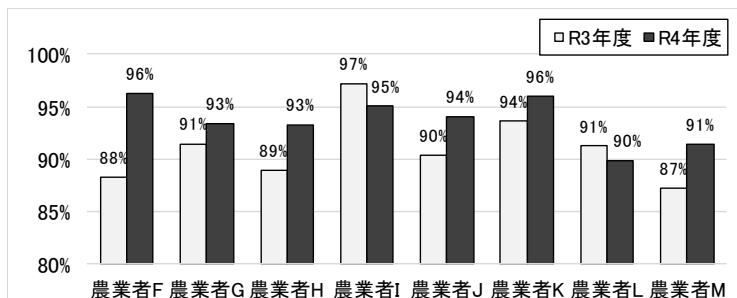
- ①時期に合わせた管理方法の助言
- ②地域の生育状況や病虫害の発生情報を提供
- ③防除時期や薬剤選択の考え方を助言

- ・生育に合わせた給液や株管理を実施できた
- ・適期防除の実施とローテーション防除を積極的に行った

(2)目標収量の確保



新規参入者3戸が計画目標収(3,500kg/10a)を達成した。



防除が上手くいって灰色かび病やうどんこ病は少なかったよ。規格内率は去年より良かった！



4 今後の対応

引き続き、新規参入者(就農3年目以内)が就農計画目標の収量を維持できるように活動する。